

ひかりは西へ！ 熊本で餅つきイベント 200名参加



熊本地震の発生から1年が経った。震度7に2度見舞われた現地は、益城町から西原村、南阿蘇村につづく布田川断層の被害が大きく、現在も約2万世帯が仮設住宅、みなし仮設、公営住宅に仮住まいをしている。写真は、西原村小森仮設団地で、ジャンケンゲームをするみなさん。

3月25日(土)・26日(日) 3カ所の仮設にて

一般社団法人ひかりプロジェクトとして初めての、被災地での支援イベント「餅つきと歌の会」を、3月25日・26日の2日間、熊本で実施した。九州新幹線が全線開通したのが、2011年3月12日、あの東日本大震災の翌日であった。その新幹線で熊本まで東京から約6時間の距離である。飛行機では成田から約2時間。LCC利用で、曜日にもよるが片道1万円以下で行ける。今回は、熊本県益城町で2ヶ所、西原村で1ヶ所の仮設住宅で活動を行った。ボランティアとして、宮城県気仙沼市、首都圏、山口県宇部市そして隣接の福岡県や大分県から総勢24名が参加した。

益城町は震度7の地震に2回見舞われるなど、熊本県で最も被害の大きかったところで、被災した建物はほとんどが解体撤去され更地となっているが、道路脇にはまだ傾いたままの電柱があちこちに見られる。町内には18カ所、合計約1560戸の仮設住宅があり、被災者の方々は不自由な生活を送っておられる。

1月に下見を行った際、益城町の災害ボランティアセンターに相談し、比較的小規模の仮設住宅には、ボランティア団体の支援が行き届いていないという情報を得て、



益城町の安永東仮設団地(60戸)、木山上辻仮設団地(80戸)の2カ所と、同じく被害の大きかった、西原村小森仮設団地で活動を行うことになった。活動内容は、宮城県気仙沼で経験のある「餅つきと歌の会」を行うこととし、準備に入った。

25日 最初の活動は、3月25日(土)10時～12時、熊本県益城町の安永東仮設団地である。どこの仮設団地にも建設されている「みんなの家(集会所)」を会場に、お餅を2臼つき、大根おろし餅、きな粉餅、安倍川餅にして皆さんに召し上がっていただいた後、吉見文男・美紗子ご夫妻(神奈川県横浜市)の指導でみんなが歌を歌う。手作りの歌集が配られ、童謡や懐かしい歌から最近の歌まで14曲を歌った。最初は声が小さかったが、2班に分かれての歌合わせ(童謡「桃太郎」と「金太郎」の歌を交互に歌う)からは俄然盛り上がり、歌声が集会所に響き渡り一体感が生まれた。その後は、ジャンケンゲームで景品をゲット。和やかなひとときを過ごした。

その日の午後2時～4時、同じ益城町の木山上辻仮設団地で、同様のイベントを行った。仮設団地の子供たちも餅つきに参加し、2臼をつき、「みんなの家」でつくあげたお餅をこね、美味しく頂いた。こね手には住民の方も入られ、みなで作り上げた餅つきイベントとなった。

満腹になった後、同様に「歌の会」と「ジャンケンゲーム」で楽しい時間を共有し、お互いに元気を頂くこととなった。



子ども達も、お餅つきに挑戦!

26日 熊本でのボランティア活動二日目の3月26日(日)、西原村小森仮設団地で、同じように「餅つきと歌の会」を行った。

西原村は震災直後、行政がいち早く民間のボランティア団体の支援を受け入れたことから、復興が比較的進んでいると言われている。1ヶ所に集約して建設されている大規模な仮設住宅で、全体で312戸ある。この日は時々雨が射す曇り空で、雨の心配はなく、完全屋外での餅つきとなった。(筆者が熊本空港を離陸する17時頃は雨模様となり、本当に天候に恵まれた)

大規模仮設住宅で人数が多いことから、ここでは最終的に10臼つき、つきあげたお餅をちぎったりこねたり作業を、住民の方々が率先して行ってくださり、住民の方



住民の方々と一緒にお餅をこねる気仙沼での経験を活かして指導する奥原美紀子さん(左)



も「自分たちでできることはさせてもらいたい」という思いで、お互いに交流し、共に作り上げた餅つきイベントとなった。(裏面につづく)

ヨイショのかけ声で、「3人づき」でお餅をつく

主催：一般社団法人ひかりプロジェクト

餅つきイベント

+ みんなで歌おう&じゃんけんゲーム

日時 3月26日(日) 10時～12時30分
場所 西原村仮設住宅 C棟集会所



- 【予定】 9時00分 準備
- 10時00分 餅つき開始
- 11時15分 餅つき終了
- 11時30分 歌の会
- 12時15分 じゃんけんゲーム大会
- 12時30分 終了

「春が来た」
「福生の唄」
「365歩のマーチ」
「紙ひこうき」他
なつかしい
歌ばかりです

賞品
いっぱい!

お問い合わせ：(一社)ひかりプロジェクト 清水 幹生 (080-1924-1098)

安永東仮設団地、木山上辻仮設団地、西原村仮設住宅
3種類のチラシ(B5)・ポスター(A3)を作成
(チラシは住民の方に配布、ポスターは集会所に掲示)

熊本地震（4月14日）から1年 広げよう支援の輪



♪久しぶりに大きな声で歌って楽しかった♪



吉見さんご夫妻の指導による歌の会

その後、吉見ご夫妻の指導による歌の会が始まり、みんなの家（集会所）の椅子は満席状態の約40名で、みんな一緒に歌を歌った。予定した14曲以外にも歌のリクエストがあり、大いに楽しんでいただけたようだ。「普段大きな声をあげたり、歌ったりすることがないので、久しぶりに大きな声で歌い、楽しかった」という声があちこちで聞こえた。

そして、子ども達も大勢参加したジャンケンゲームは、景品をゲットして大いに盛り上がった。

住民の方々の参加は入れ替わり立ち替わりで、正確には把握できないが、延べ150名近くの方に参加していただいたようだ。

予定の2時間半を若干過ぎイベントは終了。住民の方との別れ際、また次回も来てくださいという声に、今回の活動の手応えを感じることができた。

最後に、ボランティア全員で後片付けをし、昼食（コンビニ弁当）を頂き、一人ずつ今回参加しての感想を述べ合った。

活動を終えて

地元・九州で中心的に動いてくださった田中佐百合さん（福岡県糸島市）が、知人友人に声を掛け、九州から15名のボランティアが参加し、それぞれの方が適材適所で活動していただいた。3か所で14日の餅つきも、彼らがいなければできなかったと思う。ありがとうございました。

福岡県から参加した方々は、「初めてこのようなボランティア活動に参加した。実際に現地に来ないと大変な状況は分からない。帰ったら周りにこのことを伝えたいし、またこれからも機会があればこういう活動に参加していきたい」と一様に語っておられた。

また、今回最も遠方からボランティアとして参加した奥原美紀子さん（宮城県気仙沼市）は、「食品衛生責任者」としての資格を活かして、衛生管理も含め餅つき全般の指導をしてくださった。「東日本大震災では全国から支援していただき、今回、そのお礼の気持ちからこの活動に参加させていただいた。気仙沼の仮設住宅でやってきたお餅つきの経験が、熊本での活動のお役に立ててありがたい」と言われた。

2日間にわたり参加した地元の矢野恵美子さん（熊本県益城町）は、「昨年4月14日16日と思ってもかけない地震に見舞われ、その後、益城町も人口流出が止まらず、先の見通しが立っていない。自分の弱音を出すのが壊れるので、せめて笑顔で」という九州女の気性で明るく振舞っているが、皆不安な気持ちを持っている。今回、遠方から、また隣接県からこの地に来てくださったことが、崩れそうになる私たちの心を支えてくださった。あのお餅の一つひとつが、皆さんの生きる力になったかもしれない」と、被災地の一人としてお礼の気持ちを語られた。

このようにして多くの方々からの支援・ご協力・お祈り添えを頂き、支援活動を無事に終えることができました。被災地の皆さまには、わずかでも喜んでいただき、楽しいひとときを過ごしていただいたのではないかと感じています。

当日会場に足を運んでくださった住民の皆さま、全国各地から参加してくださったボランティアの皆さま、後方にてご支援いただいた皆さまに、心よりお礼申し上げます。

（文と写真・阪本正雄）



ボランティアの皆さん（今回のために作った青色のピブスを着て）



木山上辻仮設団地にて



安永東仮設団地にて

気仙沼

ドリームキャンププロジェクト 2017

こどもの問題にアプローチすることで地域社会を良くする「ドリームキャンププロジェクト」

ボランティアの輪を広げよう

新規事業

ドリームキャンプ
こども食堂



こどもの貧困、居場所づくり、地域の斜め関係づくり、人と人との接点 若者のボランティア参加チャンス

社会貢献活動

4月29日(土)より月1回開催

継続事業

第6回ドリームキャンプ
気仙沼大島



こどもの楽しみ、笑顔のもと、経験の提供 絆づくり、仲間づくり、ボランティア参加 思い出づくり、出会いの場

プロジェクトの目玉

7月28日(金)～30日(日)開催



おもち、おいしいね！

地球環境維持のための事業

その1 コンポストの利用

自然環境保護に関する活動を調査し、個人・グループで取り組める活動を紹介するコーナーです。詳しくは次号にて報告します。（正田新一）



生ゴミを堆肥にリサイクルするために、容器を購入する。



野菜クズを投入し発酵促進剤を振りかける。



2週間毎日投入し続け、1週間後、カサが減って色も変わってきた。

ひかり新聞 No.30 2017年(平成29年)4月24日
 発行者：一般社団法人 ひかりプロジェクト
 〒401-0304 山梨県南都留郡富士河口湖町河口1975
 電話 0555-72-8191 FAX 0555-76-6696
<https://hikari-project.jimdo.com/> E-mail: hpa@road.ocn.ne.jp

ひかり募金にご協力をお願いいたします。

★ゆうちょ銀行
 記号 10890 番号 16718311
 ★郵便振替
 記号番号 00210-2-137823
 一般社団法人 ひかりプロジェクト